

鳥取県からの問合せ事項への対応

(2012/11/13 静岡県 交通基盤部 港湾局 漁港整備課)

⇒追記：2013/04/22 電話確認（鳥取県技術企画課 Y→静岡県漁港整備課 A）

⇒追記：2013/06/28 電話確認（鳥取県技術企画課 Y→静岡県漁港整備課 A）

平成 24 年 11 月 8 日鳥取県県土整備部技術企画課（土木防災担当）から福田漁港・浅羽海岸サンドパイパスに関する問合せメール（全 3 項目）を受信した。

鳥取県では、鳥取沿岸の砂浜海岸復元・港内堆砂抑制に向けた技術検討委員会（第 1 回）を開催（平成 24 年 11 月 7 日）し、その委員会の中で委員からの質問に対して回答が必要なことから、静岡県に問合せをしてきたものである。

問合せを受けた事項に対して、以下のように回答する。

Q 1. 平成 24 年 9 月の試験施工開始以降、サンドポンプによる砂の浚渫は順調に進んでいますか？ 予定通りの浚渫量が移動できているのでしょうか？ 現状の詳細、今後の見通し・予定は如何ですか？

⇒初期の不具合は改善しましたが、その後の確認動作において新たな問題が確認されたことから中断状態にあります。現在、その原因特定と問題解決のための方策を検討しており、年内中に対策案をまとめ、今年度末まで再稼働させることを目指しています。

⇒追記：2013/04/22

○今後の見通し

- ・ 9 月の総合試運転再開に向けて、設計の見直し等を行っている状況である（5 月～8 月はウミガメの産卵のため、運転不可）。

Q 2. 平成 24 年 10 月下旬に貴県に問い合わせた際には、「うまく砂を吸い込んでいない。原因を究明している。」とお聞きしました。その後の状況は如何ですか？

⇒海水を供給するポンプ内部で設計以上の負圧が生じ、長時間運転ができないという状況にあります。まだ原因を特定したわけではありませんが、海水中の異物除去する装置のつまりが原因と推測しており、ポンプ類の耐久性や経済性、メンテナンスの難易性などを考慮しながら対策案を検討しております。それと平行して、問題箇所にとらわれずシステム全体の検証を進めることとし、再稼働時に更なる問題発生リスクを低減したいと考えております。

⇒追記：2013/04/22

○想定される原因

- ・ 給水ポンプ（吸引部）のフィルター（水コシ器：ろ過装置）にゴミ（藻）が目詰まりしたことによる給水不良となる（海水が吸えない）。
- ・ ポンプ冷却を給水した海水により実施しているため、給水不良による内部の加熱が発生し、加熱による損傷が発生した。
- ・ 現在の状況だと 20 分強でゴミがたまり、フィルターの清掃が必要となる。フィルター清掃には、時間がかかるためサンドパイパスシステムの継続運転ができない。

⇒追記：2013/06/28

- ・ 2013/04/22 以降の変化としては、給水ポンプ（吸引部）の不具合を改良するための機械工事（制御装置の追加を含む）を実施している。
- ・ 海上での作業ができない時期であり、9 月の総合試運転開始まで目立った作業は行っていない。

Q 3. 現在は、昼間にシステムを運転しているようですが、将来的に電力の安い夜間に運転する動きがあるのでしょうか？ 夜間運転についての考え、見通し、または夜間運転を実施しない理由等は如何ですか？

⇒ ランニングコストの低減という観点から夜間運転の検討をされていると思いますが、福田漁港・浅羽海岸の場合、運転そのものに係る電力量料金よりも、基本料金のほうがランニングコストに占める割合が高い状況にあります。夜間運転もさることながら、基本料金を低減できないか検討中です。

現時点では夜間運転の実施を想定していませんが、安全性の確保が不確実であることが実施しない理由です。まだ、昼間運転時の体制も確立されていない状況であることから、まずは昼間時の管理体制や安全性の確保を図ることが最優先と考えております。

以上